

## 概要

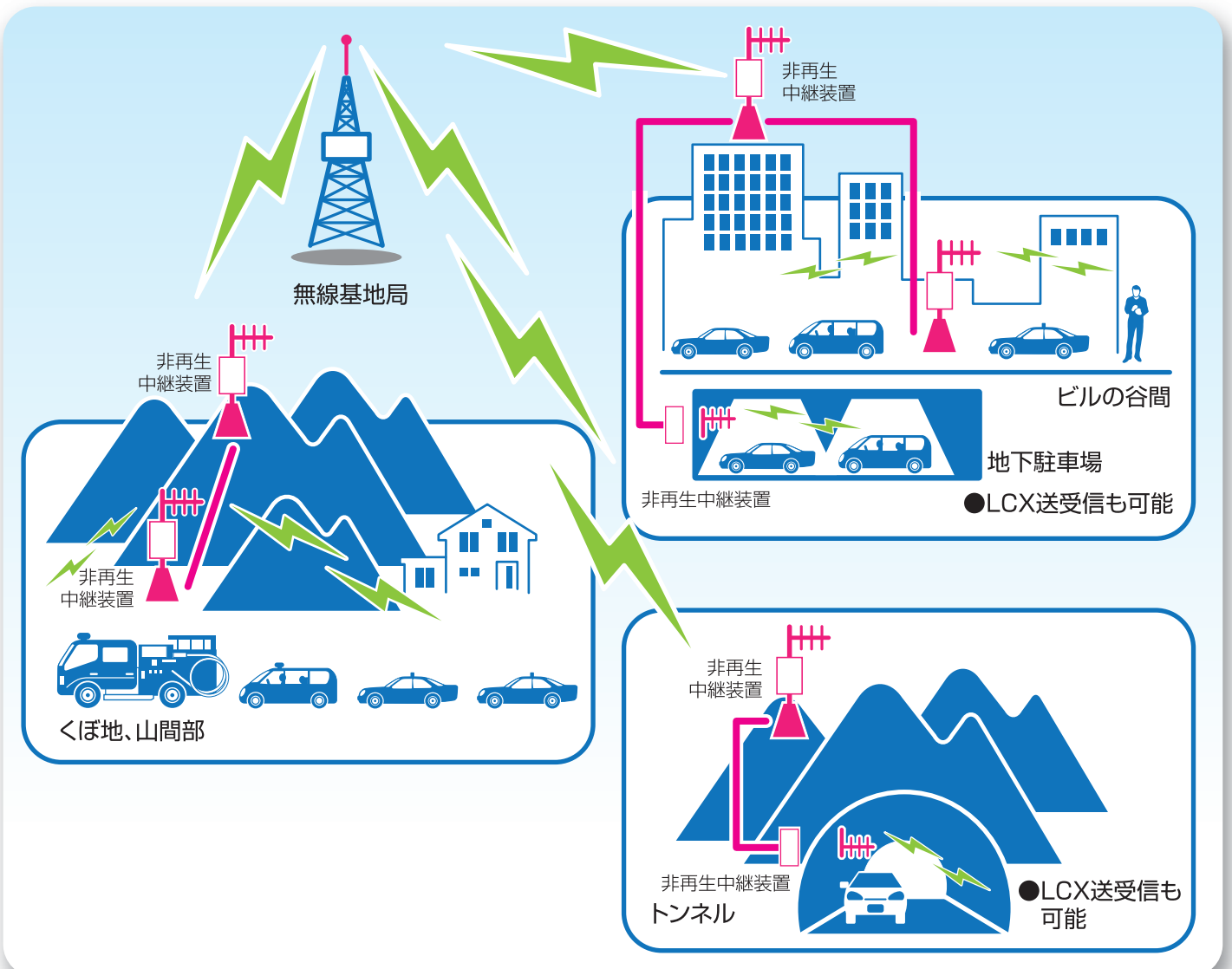
無線基地局のサービスエリア内に存在する、地下駐車場、地下街、トンネルなど通信不能場所や建造物、山、くぼ地などの地形による電界低下などによる不感地帯に、同一周波数で増幅し再送信する装置。

周波数の有効利用、アクセス方式・変調方式に左右されない、省スペースで設置・運用コストが安価であるメリットがある。非再生中継装置は、デジタル特有の急峻な立ち上がり特性を有する信号も忠実に再現し、規格内で増幅する様に、独自の高速AGCアルゴリズムを開発。また現在実用されているタクシー無線機、消防無線機による実証実験も良好な結果を得ている。



ARP1-260SH-MR1

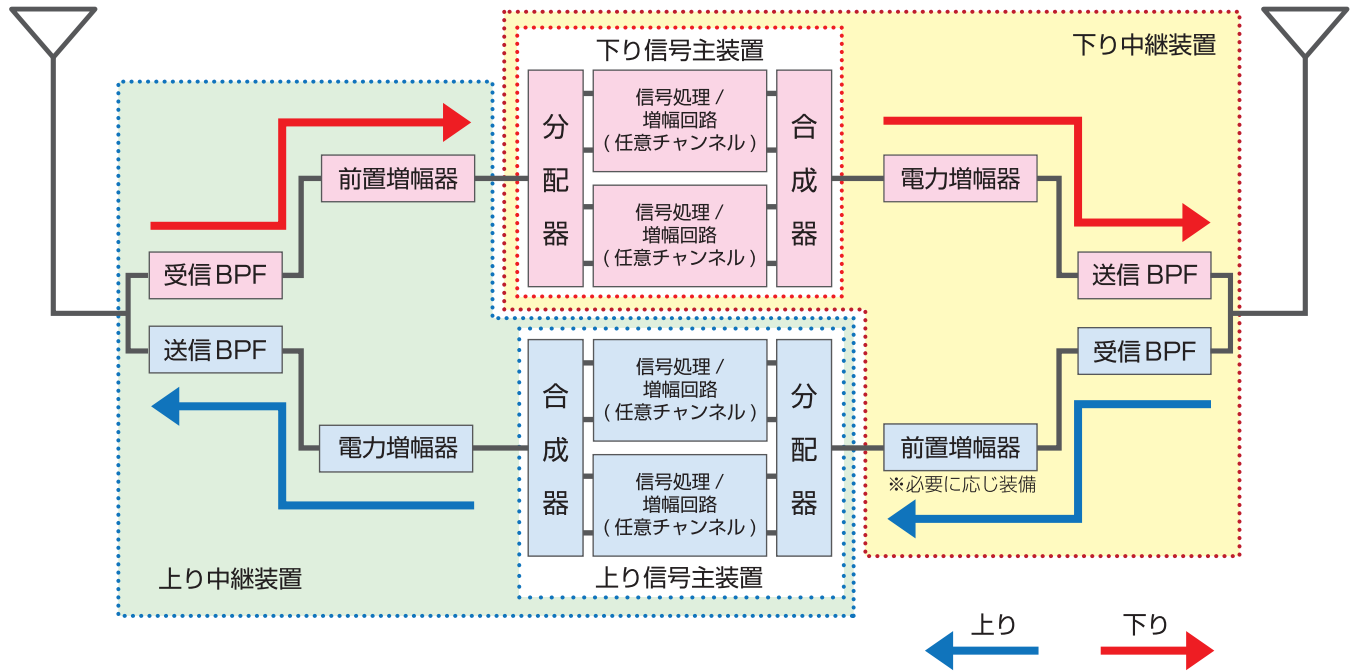
## システム例



# システム基本構成

基地局アクセス用  
送受共用空中線

移動局アクセス用  
送受共用空中線



## 仕様

型名	ARP1-260SH-MR1
対応通信方式	狭帯域デジタル移動通信システム (SCPC方式および TDMA方式) >> ARIB STD-T61.T79.T80( $\pi/4$ DQPSK方式) ・基地局は常時送信および非常時送信両方式に対応 ・少量多頻度バーストデータ通信 (20msecバーストデータ伝送) に対応 >> ARIB STD-T102(4値 FSK方式)
設定周波数範囲	250MHz ~ 470MHz 内指定周波数
増幅帯域幅	6.25kHz ~ 25kHz ※規格により指定
キャリア周波数間隔	12.5kHz 以上 (SCPC) 50kHz以上 (TDMA)
隣接周波数減衰量	30dB 以上 ( $\pm 12.5$ kHz) ※増幅帯域幅 6.25kHz時
空中線電力	200mW/ch 以下
空中線電力の偏差	+20% -50% 以内
周波数偏差	同一周波数時 $\pm 0$ (理論値) 周波数変換時 $\pm 0.05$ ppm(typ) ※内部 OCXO時
スプリアス発射または不要発射	25 $\mu$ W 以下
筐体輻射	2.5 $\mu$ W 以下
主装置標準入力レベル	下り標準入力レベル -70dBm $\pm$ 10dB 上り標準入力レベル -60dBm $\pm$ 20dB

**安全に関するご注意** 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず『取扱説明書』をよくお読みください。



## 日本アンテナ株式会社

本社 / 〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎ (03) 3893-5221 (大代)

ホームページアドレス <http://www.nippon-antenna.co.jp/>

●商品改良のため、仕様、外観は予告なしに変更することがあります。

●印刷物と実物とは多少色味が異なる場合があります。

●平成 28 年 5 月現在の内容です。